



2025 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 abc 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

株式会社オーケーウェブとの包括的開発支援契約締結に関するお知らせ

～Web3.0 領域における新規事業創出と既存サービス基盤の進化を同時に推進～

当社は、株式会社オーケーウェブ（以下「オーケーウェブ社」という。証券コード：3808 名証ネクスト ※2025 年 9 月 30 日から株式会社オーケーウェブに社名変更。）と、Web3.0 領域における新規事業創出、既存サービスの価値再定義、ならびに全社的な技術基盤強化を目的とした包括的な開発支援契約本日付で締結いたしました。

本取り組みは、2025 年 4 月 17 日付「[株式会社オウケイウェイヴとの資本業務提携に関するお知らせ](#)」にて開示の資本業務提携に基づき実行フェーズに移行したものであり、当社とオーケーウェブ社の中長期の経営戦略に連動した構造改革プロジェクトとして進行します。

記

1. 締結の背景と本取り組みの位置づけ

オーケーウェブ社は、「ありがとう」の気持ちを可視化・流通させる“感謝経済”のコンセプトを軸に、Q&A コミュニティ「OKWAVE」や法人向け感謝カードサービス「GRATICA」など、他に類を見ないユニークな価値提供を継続してきました。

昨今、Web3.0 をはじめとした技術的進化、SaaS 市場の競争激化、ユーザー体験への期待の高度化が進むなか、オーケーウェブ社では次の成長ステージに向けた構想を進めており、以下のような重点テーマが社内でも検討されておりました。

- GRATICA における継続的な提供価値の強化
- 新規 Web3 事業「新章（SHINSHO）」の構想から実装フェーズへの移行
- OKWAVE コミュニティの UX 再設計および基盤アップデート
- 全社的なセキュリティ・インフラ強化による持続性向上

これを受けて、当社は Web2.0・Web3.0 の両領域における構想実現力と実装力を融合し、事業変革を支援する包括的な開発体制を構築し、複数領域にまたがるプロジェクトを横断的に推進することで、両社の中長期的な企業価値向上を図ってまいります。

2. プロジェクト全体像と支援領域

本プロジェクトは、今期の第 1 四半期～第 2 四半期前半（おおよそ 2025 年 10 月～2026 年 2 月）にかけて、オーケーウェブ社が当社に開発業務を委託する形で、下記 4 つの主要領域において段階的に開発推進していきます。

なお、開発に関しては、2025 年 2 月 7 日付 PR 情報「Metabit. SDN. BHD. との戦略的開発パートナーシップ提携に関するお知らせ」にて既報のとおり、当社の戦略的パートナーである Metabit. SDN. BHD. (以下、「Metabit 社」という。)が開発実施の主体となります。

Metabit 社は、Solana チェーン領域におけるトークン開発および DEX 構築の豊富な知見を有しており、2025 年 10 月 3 日付「[Metabit 株式会社の株式取得及び株式交付（簡易株式交付）による子会社化に関するお知らせ](#)」にて開示のとおり、当社が今後連結子会社化を予定する企業でもあります。

《主な支援領域》

- **SaaS 型感謝プラットフォーム（GRATICA）の再活性化**
 - 顧客継続率の向上を目的とした UX/UI 再設計と機能追加
 - 法人向け感謝カード事業の再定義と価値向上支援
- **Web3.0 新規事業「新章（SHINSHO）」の実装フェーズ移行支援**
 - トークン設計、Solana 連携、DAO 準備など Web3 基盤の構築
 - 感謝経済の Web3.0 モデル移行に向けた設計・開発支援
- **OKWAVE コミュニティの基盤刷新と再構築**
 - レガシーシステムからのリニューアル
 - Web3 ユーザー体験への転換に向けた基盤整備
- **全社横断の技術負債・セキュリティリスク解消**
 - 横断的な脆弱性診断とリファクタリング対応
 - 今後の開発投資最適化に向けた技術基盤の標準化

なお、本件の開発期間は約 4 か月間とし、当社はオーケーウェブ社より総額 4,968 万円（税抜）の開発業務の委託料を契約締結日の翌日である 2025 年 10 月 30 日に受領予定です。本取引条件は通常の商取引の範囲内です。

3. 今後の展望と事業的意義

本プロジェクトは、オーケーウェブ社が掲げる「感謝経済」の理念と、Web3.0 技術が持つ自律分散型の経済構造の可能性を融合するものであり、単なる IT 開発や機能改善にとどまらず、「価値の再構築」と「仕組みの刷新」を同時に目指す取り組みと位置付けております。

当社では本件を、“感謝”という非金銭的価値を可視化・流通させる Web3.0 型社会実装プロジェクトとして捉えており、分散型台帳技術やトークンエコノミクスを活用することで、従来の Web2.0 アーキテクチャでは実現しきれなかった価値循環型のインフラ構築を志向しています。

今後の展開においては、以下のような中長期の構想を検討しており、金融商品取引法や資金決済法等各種法令の整備状況と、社会環境の変化を踏まえながら、オーケーウェブ社との資本業務提携の枠組みでの取り組みを引き続き進めるほか、既存事業との統合的なシナジー創出を目指してまいります。

- Q&A コミュニティ「OKWAVE」の DAO 化（「互助」から「共助」プラットフォームへ）
- ミーム型暗号資産をはじめとした、各種トークンとの相互連携
- 「サンクスポイント」を中心としたインセンティブ設計の検討
- 貢献履歴に基づいた「人間性」の可視化

4. 契約締結先の会社概要

(2025年6月30日時点)

1. 大株主及び関係会社

2025年6月30日時点

(1)	名 称	株式会社オーケーウェブ ※2025 年 9 月 30 日から株式会社オーケーウェブに社名変更		
(2)	所 在 地	東京都港区新橋 3 丁目 11- 8		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 杉浦 元		
(4)	事 業 内 容	日本初、最大級のQ&Aサイト「OKWAVE」の運営及び関連する企業サービスの提供 ・Q&A形式の情報交換コミュニティサイト運営（OKWAVE） ・Q&Aサイトの問題解決力を活用したソリューションの提供（OKWAVE Plus） ・感謝の気持ちをカードを通して伝え合うクラウドサンクスカードサービスの提供		
(5)	資 本 金	150,922 千円		
(6)	設 立 年 月 日	1999 年 7 月 15 日		
(7)	大株主及び持株比率	株式会社ブイ・シー・エヌ 7.59% 公益財団法人こどもの未来創造基金 6.48% abc 株式会社 5.31% 奈良 邦一 4.69% 赤岡 卓哉 2.31% 大島 豊子 1.96% 星山 崇行 1.93% 渡邊 秀和 1.78% 杉浦 元 1.65% 佐藤 悠大 1.53%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と資本業務提携の関係にあり、2,445,900 株（5.31%）を保有しています。 （2025 年 6 月 30 日時点）	
		人 的 関 係	当社の専務取締役 片田朋希がオーケーウェブ社の社外取締役となっております。	
		取 引 関 係	Web プロモーションに関する業務を委託しております。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9)	URL	https://okwave.co.jp/		
(10)	当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決 算 期	2023 年 6 月期	2024 年 6 月期	2025 年 6 月期
	連 結 純 資 産	△98,562 千円	185,891 千円	372,517 千円
	連 結 総 資 産	1,744,463 千円	1,430,380 千円	1,725,331 千円
	1 株当たり連結純資産	△3.83 円	3.96 円	7.08 円
	連 結 売 上 高	146,557 千円	152,780 千円	234,701 千円
	連結営業損失（△）	△709,993 千円	△285,528 千円	△114,741 千円
	連結経常損失（△）	△799,355 千円	△369,585 千円	△160,260 千円
	親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△1,066,368 千円	△280,229 千円	△135,312 千円
	1 株当たり連結当期純損失（△）	△79.25 円	△7.31 円	△3.28 円

5. 日程

(1) 契約締結日	2025年10月29日
(2) 委託料受領日	2025年10月30日(予定)

6. 業績の影響

当該事業は、中長期的に両社の事業規模拡大及び業績向上に寄与するものと考えていますが、本件が2026年8月期業績に与える影響などについては現在精査中です。

以 上